

マイワンドツーエルプロ
MiWand 2L PRO
 フィーダードック付きポータブルハンディスキャナー

取扱説明書 兼 保証書

この度は、フィーダードック付きポータブルハンディスキャナーをお買い求めいただき誠にありがとうございます。こちらの取扱説明書をよく読んで頂きご利用ください。

本製品を使用したことによるデータの消失などにつきましては、一切保証致しかねます。商品のサポート時に本保証書とお買い上げのレシートなどが必要になりますので大切に保管願います。当社において修理が困難と判断した場合は、同等品と交換させていただきます。




安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

| | | | |
|--|--------------|---|------------------|
|  | してはいけない内容です。 |  | 実行しなければならない内容です。 |
|--|--------------|---|------------------|

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

| | |
|---|---|
|  | 異常な音や発熱、異臭がした場合はすぐに使用を中止して電源を切り、お手を触れずにすぐに販売店または弊社までご連絡ください。 |
|  | ご自分で分解・改造・修理はしないでください。けがや火傷、感電の恐れがあります。内部の点検や修理は販売店または弊社にご相談ください。 |
|  | 小さなお子様だけの使用、乳幼児の手の届くところでの使用および保管は避けてください。けがや火傷、感電の恐れがあります。 |

バッテリーのご注意



警告：

バッテリーの漏れや過熱や爆発を防止するため、次の注意事項を守ってください。










- ・バッテリーは本製品を利用して充電してください。
- ・ネックレスやヘアピンなど、金属物と一緒に、バッテリーを保存しないでください。
- ・バッテリー本体を落下させたり、叩いたり、折り曲げないでください。

注意：

- ・高温下（強い直射日光の下や、高温の車内など）でバッテリーを使用したり、放置しないでください。過熱や火災の恐れがあります。また、性能が劣化したり寿命が短くなります。
- ・バッテリーが漏れ、電解液が眼に入った場合：眼をこすってはいけません。きれいな流水で眼をすすぎ、直ちに医師の手当を受けてください。放置しておくと、眼球疾患になることがあります。
- ・使用中や充電中や保管中に、バッテリーが異臭を発したり、熱を発生したり、変色や変形などの異常が見られたら、直ちに機器から取り外し、充電や使用を中止してください。

| | |
|---|---|
|  | 濡れた手で触れたり操作しないでください。また、機器に水などの液体をかけないでください。ショート・感電・故障の原因となります。 |
|  | メモリーカードは乳幼児の手の届くところには置かないでください。誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。 |

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

| | |
|--|--|
|  | 本体を投げたり、落とすなど強い衝撃を与えないでください。機器の破損、故障の原因となったり、けがの原因となります。 |
|  | 本来の用途以外には使用しないでください。事故や故障の原因となります。 |
|  | 長期間使わないときやお手入れのときは、電池を取り外してください。電池を入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。 |
|  | 底面の発光部を直接みないでください。視力障害などの原因になる事があります。 |
|  | 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼす事があります。 |
|  | 電源が入った状態で電池を抜かないでください。機器の故障や、データの損失の原因となります。 |
|  | 本機で作成されたデータの管理につきましては、お客様ご自身の責任にてお願い致します。大切なデータはバックアップを取る事をお勧めします。 |
|  | 本機を廃棄する場合は、必ず電池を抜き取り、各自治体の指示に従って廃棄してください。 |
|  | 新品の電池をご利用ください。古い電池と合わせてご利用にならないでください。液漏れなどによる発火や故障の原因となります。 |

パッケージ内容

内容物をお確かめください



ご注意
 1. 同梱の AC アダプターおよびリチウムバッテリーのみをご使用ください。他の使用は装置の故障の原因となり、また保証事項が無効となります。
 2. パッケージを開梱し、同梱物をチェックしてください。欠品や故障がある場合は、直ちに販売店にご連絡ください。

製品に関して

FCC 無線周波数干渉

本機器は、無線周波エネルギーを放射します。製造元の取扱説明書に従わずに使用した場合、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因となります。本機器は、テストの結果 FCC 規則 15 条に順ずる Class B デジタル デバイスの制限にしたがっていることが認められています。これらの制限は、本機器が居住地域においてインストールされたときに、有害な干渉に対する適切な保護を提供するためのものです。ただし、特別なインストールを行った場合、有害な干渉の原因にならないことは保証できません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることにより確認することができます。本機器が原因の場合、次の方法をいくつかお試しになり、干渉を修正するようお勧めします

- －受信アンテナの方向や位置を変える。
- －本機器と受信機の位置間隔を変える。
- －本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。

上記の設定が必要な場合は販売元又は熟練したラジオ / テレビ技師にお問い合わせください。この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

欧州連合規定

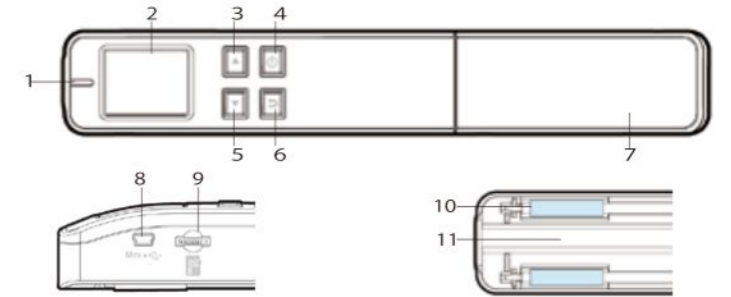
CE マークを有する製品は、以下の EU 指示に準拠しています。

- 低電圧指示 2006/95/EC
- EMC 指示 2004/108/EC
- 特定有害物質使用制限 (RoHS) 指令 2011/65/EU

*本機はクラス 1 レーザー製品として承認されています。

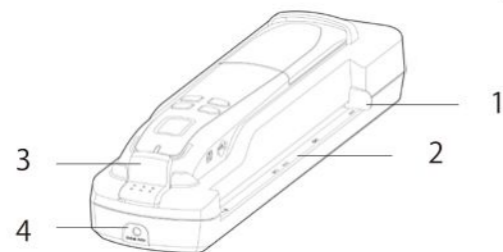
Avision が提供する CE マーク付き AC アダプターを電源とする場合、この製品は正しく CE に準拠します。この製品は EN55022、EN55024 の Class B 限界、および EN60950 による安全要求条件を満たしています。

各部詳細



| 番号 | 名称 | 説明 |
|----|--------------|--|
| 1 | システム表示ランプ | スキャナーの動作 / 警告ステータスを示します。 |
| 2 | LCD ディスプレイ | プレビュー写真と設定メニューを表示します。 |
| 3 | 上矢印 | 「スキャン準備完了」画面からメニュー画面に入ります。メニュー画面では上に移動します。 |
| 4 | 電源 / スキャンボタン | このボタンを押してスキャナーの電源をオンにします。このボタンを押してスキャナーを開始または停止します。メニューとプレビューオプションでは選択を決定します。このボタンを 3 秒間押し続けると、スキャナーの電源がオフになります。 |
| 5 | 下矢印 | 「スキャン準備完了」画面から表示モードに入ります。メニュー画面では下に移動します。 |
| 6 | 戻る矢印 | 表示モードまたはメニューオプションから、前の画面に戻るか終了します。 |
| 7 | バッテリーケース | スライドしてカバーを取り外します。 |
| 8 | USB ポート | USB ケーブルを差し込んでコンピュータに接続し、メモリーカードに保存した画像を表示するために使用されます。充電の際にも利用します。 |
| 9 | メモリーカードスロット | microSD カードを挿入するために使用されます。 |
| 10 | ローラー | ローラーは、一方のみスライドします。キャリブレーションを除き、スキャンしながら前後にスライドしないでください。 |
| 11 | センサー | 文書の上をスキャナーがスライドしている間、光センサーが画像を読み取りスキャンします。 |

フィーダードック前面図



| 番号 | 名称 | 説明 |
|----|---------|-------------------------------|
| 1 | ガイド | 文書サイズに合うようにガイドをスライドします。 |
| 2 | 挿入口 | 用紙を挿入口に挿入してスキャンを開始するために使用します。 |
| 3 | ラッチ | フィーダードックから、スキャナーを外します。 |
| 4 | DC ジャック | 電源アダプタを差し込みの為に使用します。 |

スキャン表示ランプ



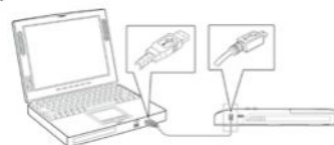
| ステータス | 表示 |
|-----------|--|
| オフ (消灯) | スキャナーが電源オフ状態または、メニュー操作中です。 |
| オレンジが短く | 初期化のために電源をオンします。 |
| 緑、常時オン | スキャンが 300 dpi で進行中です。 |
| オレンジ、常時オン | スキャンが 600 dpi で進行中です。 |
| オレンジで点滅 | スキャンが 900 dpi で進行中です。(ハンディ使用時のみ) |
| 赤、点滅 | SD カード無し / 容量不足、スキャンモードを初期化した後、スキャンが実行されていない、またはバッテリーの残量不足 |

セットアップ 3 バッテリーを充電する

バッテリーの充電方法には、コンピュータからの USB ケーブル、あるいは付属の電源アダプタを利用する 2 種類があります。

(a) USB ケーブル (PC 接続 & 充電用)

- ① スキャナーの電源を切ります。
- ② スキャナーの mini USB ポートにケーブルを接続します。
- ③ コンピュータの USB ポートに接続します。



重要: * バッテリーの充電中はスキャナの電源をオンにしないでください。
* 2 時間以上バッテリーを充電し、緑色の LED が消えたら、スキャナーを使用してください。

(b) 電源アダプタまたは USB ケーブル (フィーダードック用)

- ① スキャナーの電源を切ります。
- ② フィーダードックにスキャナーを挿入します。(P13 の「スキャン方法」で取り付け方が確認できます)
- ③ 電源アダプターの先端をフィーダードックに差し込み、アダプターをコンセントに挿入します。



または
USB ケーブル (フィーダードック用) をフィーダードックに接続し、コンピュータに接続します。



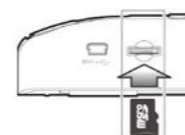
重要: * バッテリーの充電中はスキャナの電源をオンにしないでください。
* 2 時間以上バッテリーを充電し、緑色の LED が消えたら、スキャナーを使用してください。

機能・スペック一覧

| 項目 | 説明 | |
|----------|--|---|
| モデル名 | MiWand 2L PRO(SL,BK,GD) | |
| イメージセンサー | CIS | |
| ディスプレイ | 1.8" TFT LCD | |
| メモリ | 16MB | |
| 最大文書サイズ | 8.5" X 14" (216mm x 356mm) | |
| 自動電源オフ | 3 分 | |
| 出力ファイル形式 | JPEG/PDF | |
| 解像度 | 300 dpi/600 dpi/900 dpi(900 dpi: ハンディーのみ) | |
| インターフェース | メモ리카ード | マイクロ SD (SDHC) カード (最大 32GB まで) |
| | USB | USB 2.0 と互換性のあるミニ USB ポート |
| 対応 OS | Windows XP/Vista/7/8/8.1 Mac OS 10.5 以上 | |
| 電源: | ハンディスキャナー フィーダードック | リチウムバッテリー (NP45、3.7V,700mAh) AC アダプター: 100~240V 50/60Hz(入力)、5V2A(出力) |
| 正味重量 | スキャナー: 約 250g スキャナー + バッテリー: 約 260g フィーダードック: 約 400g スキャナー + バッテリー + フィーダードック: 約 660g | |
| 寸法 | スキャナー: 41x258x36mm フィーダードック: 69x322x57mm | |
| 動作環境 | 温度: 5° ~ 35° 湿度: 20% ~ 85% | |

セットアップ 4 マイクロ SD カードの取り付け

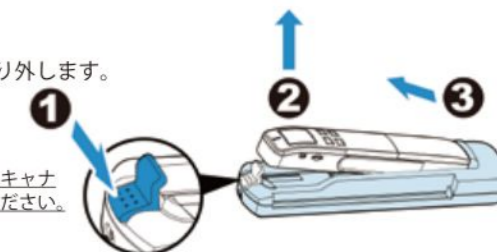
画像を保存するには、スキャナーのマイクロ SD スロットにマイクロ SD カードを装着する必要があります。カードがカッチと止まるまでゆっくり押し込みます。



注記: * スキャナーで使用できるマイクロ SD のファイルシステムは FAT16 または FAT32 形式です。
NTFS 及び他のファイル形式はサポートされていません。
* キャリブレーションとスキャンを実行する際は、常にマイクロ SD カードを挿入してください。

セットアップ 1 フィーダードックからスキャナーを取り外します

- ① ラッチを押し続けます。
- ② スキャナーの左端を持ち上げてから、スキャナーの右端をフィーダードックから取り外します。



警告: コネクターが損傷するおそれがあるため、スキャナーをフィーダードックから取り外す場合はスキャナーを高く持ち上げず、力をかけないようにしてください。

- ③ 図を参考に、スキャナーとフィーダードック内部の保護テープを剥がします。



セットアップ 2 バッテリーの取り付け

- ① スキャナーのバッテリーカバーを押して外します。



- ② バッテリーケースにバッテリーを入れます。必ず正しい方向に入れてください。バッテリーの銅板が、バッテリーケースの銅板に接続していることを確認してください。
注: 付属のバッテリーのみを使用してください。



- ③ バッテリーカバーを取り付けます。



スキャン方法 ハンディーの場合 (9P の「セットアップ 1」で取り外す)

スキャナの電源をオンする

⏻ を押してスキャナーの電源をオンにします。図のように、[準備完了] 画面が表示されます。再度を約 3 秒間押し続けると、スキャナーの電源がオフになります。

希望するスキャン設定を選択します

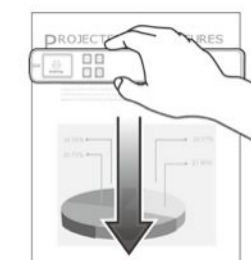
- ① [準備完了] 画面で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② メニュー オプションのリストが表示されます。オプションには、解像度、カラーモード、保存形式、LCD オフなどがあります。
- ③ ▼ を押して、保存形式など希望のオプションに焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ▼ を押して、PDF など希望の項目にカーソルを合わせ、⏻ を押して選択します。
- ⑤ □ を押して終了します。

* 使いやすさの向上を図るため、まず「メニュー」から「言語」を選択し、画面で希望する言語を選択します。
* デフォルト設定: 解像度: 300 dpi, カラーモード: カラー、ファイル形式: JPEG, LCD オフ: 45秒

スキャンの開始

- ① 文書を平面に置いてください。
- ② ⏻ を押すとスキャンが開始されます。
- ③ 図のように、スキャナーを持ちページ表面上で静かに滑らせます。
- ④ ⏻ を押すとスキャンが停止します。

* デフォルトでは、プレビューモードがオンになっていて、スキャン後、直ちに 2 秒間スキャン画像を表示することができます。(JPEG ファイル形式でのみ使用可能)



参考:

- 1、正しいスキャン速度 (A4 サイズ用紙) については次のリストをご参照ください:
2 秒 (白黒、300 dpi)、3 秒 (カラー、300 dpi)、4 秒 (白黒、600 dpi/900 dpi)、7 秒 (カラー、600 dpi/900 dpi)
* 900 dpi はハンディーの時のみ設定が可能です。

2. スキャナーを垂直に立てたまま用紙を右から左に、または左から右にスキャンすると、画像は90°回転します。画像編集ソフトウェアを使用してスキャンしたデータを正しく回転してください。



スキャン方法

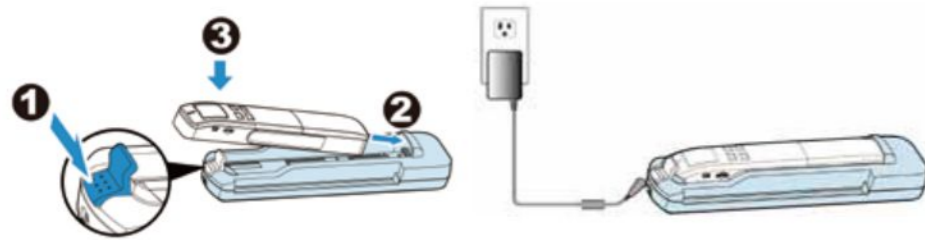
フィーダードックを利用する場合

フィーダードックで自動給紙スキャンを開始

フィーダードックをスキャンに取り付けることで、書類を挿入し自動スキャンができます。スキャンが終了すると、画像がメモリーカードに保存されます。(フィーダードックに付属の電源アダプターで接続して利用します。)

取り付け方法

- ① 左端のラッチを押し上げます。
- ② 銅ストリップを穴に挿入することで、スキャンの右端をフィーダードックの右端に差し込みます。
- ③ スキャナの左側をスロットに置きます。
- ④ ラッチを放します。
- ⑤ 電源アダプタの先端を電源ジャックに、アダプターをコンセントに差し込みます。



USB を接続するためのコンピュータシステム要件

OS: Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 (8.1)、Mac 10.5 以上
USB ポート: USB 2.0 / USB 1.1

PC からスキャナ / マイクロ SD カードを安全取り外す

- ① Windows のシステムトレイで、ハードウェア取り外しアイコンをクリックします。
- ② 対応するドライブで「USB 大容量ストレージデバイスを安全に取り外す」というメッセージをクリックします。
- ③ 「ハードウェアを安全に取り外せます」メッセージが表示されると、スキャナの USB ケーブルを安全に取り外すことができます。

iPad にスキャン画像を表示または保存する

- ① iPadカメラ コネクタ (別売) をiPadのドック コネクタに差し込みます。USBコネクタをiPadのカメラコネクタに差し込みます。
- ② お使いのスキャナのマイクロSDカードにあるスキャン済み画像が、数秒でiPadに表示されます。[Import All(すべてをインポート)] を選択すると、スキャンされた画像がiPadのアルバムにロードされます。



iPad カメラコネクションキット

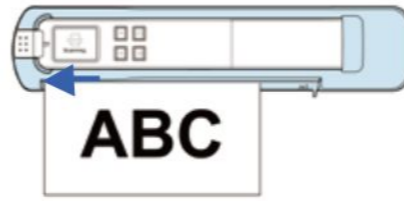
OCR ソフトウェアアプリケーションを使用する

バンドルソフトウェアアプリケーションにより、OCR (Optical Character Recognition、光学式文字認識) 処理を通じて画像テキストを編集可能な、または検索可能なテキストに変換することができます。機能の仕様に関する詳細は、CD 内のソフトウェアアプリケーションのヘルプを参照してください。

操作方法

- ① 電源ボタンを押してスキャナーの電源をオンにします。
- ② 好みのスキャン設定を選択するには、P17「カスタマイズ」を参照してください。
- ③ ページの面を上にして挿入し、挿入スロットの左端に合わせます。

* デフォルトでは、プレビューモードがオンになっている場合はスキャン後、直ちに2秒間スキャン画像を表示することができます。(JPEG ファイル形式でのみ使用可能)



プレビュー方法

※PDF はプレビュー表示ができません。

スキャン後直ちに、LCD画面でJPEG画像をプレビューできます。スライドショーとして、すべての画像を表示することもできます。

プレビューモードの設定

デフォルトで、プレビューモードはオンになっていて、スキャン後直ちに2秒間スキャン画像を表示することができます。(JPEGファイル形式でのみ使用可能) 画面には画像と共に2つのオプションが表示されます。

▲ を押しと保存(デフォルト)され、▼ を押しと直ちに画像が削除されます。プレビューモードがオフになっているとき、スキャンされたJPG画像はプレビューの表示せず直ちに保存されます。

* プレビューモードをオフにしてスキャンを実行するとバッテリーの消費電力が少なくて済むため、より多くのスキャンを行います。以下のステップに従って、プレビューモードを無効にしてください。

プレビューモードをオフにする方法

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ▼ を押してプレビューを選択し、⏻ を押して選択します。
- ③ ▼ を押してオフを選択し、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。



プレビュー画面

カスタマイズ

メニュー画面を通して、さまざまな文書タイプに適合するようにスキャナ設定をカスタマイズすることができます。

解像度 以下のステップに従って希望の解像度を選択します。

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ⏻ を押して解像度を選択します。
- ③ ▼ を押して希望の解像度に焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。

カラーモード スキャンする画像向けに次の2つのカラーモードがあります。カラーおよび白黒。以下のステップに従って希望のカラーモードを選択します。

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ▼ を押してカラーモードにスクロールし、⏻ を押して選択します。
- ③ ▼ を押して希望のモードに焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。

保存形式 スキャナには、スキャンした画像向けに次の2種類のファイル形式があります。JPEGおよびPDF。以下のステップに従って希望のファイル形式を選択します。

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ▼ を押して保存形式にスクロールし、⏻ を押して選択します。
- ③ ▼ を押して希望の形式に焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。

LCD オフ スキャナが省電力モードに入っていると、スキャナは指定した時間アイドルになった後、電源をオフにせずにLCD画面をオフにします。45秒(デフォルト)、90秒、3分から選択できます。LCD画面をオンに戻すには、どれかのボタンを押します。設定を変更するには以下のステップに従います。

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ▼ を押してLCDオフにスクロールし、⏻ を押して選択します。
- ③ ▼ を押して希望の設定に焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。

スライドショーとしてスキャンした JPEG 画像を表示する ※PDF は表示ができません。

- ① 画面が表示されている状態で、▼ を押して表示モードに入ります。
- ② スライドショーが自動的に開始され、SDカードに保存された画像が英数字順に表示されます。
- ③ スライドショーを一時停止するには、⏻ を押し、スライドショーを再起動し⏻ をもう一度押します。
- ④ 任意のときに ⏻ を押してスライドショーを終了します。

スキャンした JPEG 画像を個別に表示する ※PDF は表示ができません。

- ① 画面が表示されている状態で、▼ を押して表示モードに入ります。
- ② スライドショーが自動的に開始され、SDカードに保存された画像が英数字順に表示されます。
- ③ ▲ ▼ を押し前のまたは次の画像を表示します。
- ④ ⏻ を押して表示モードを終了し、スキャン準備完了が面に戻ります。

スキャンした画像を表示またはダウンロードする (Windows)

① スキャンした画像を表示またはダウンロードするには、マイクロSDカードを取り外してカードリーダーに接続するか、スキャナを付属のUSBケーブルを通してコンピュータに接続します(スキャナの電源がオンになっていることを確認してください)。



スキャナーとコンピュータが正常に接続されると、USB 接続画面が表示されます。

警告: スキャンした画像をダウンロードする場合、メモリーカードをスキャナーから取り外してコンピュータに接続する方法をお奨めします。USBケーブルでコンピュータに直接接続する方法では、電力の消費が大きくなります。

- ② コンピュータは、カードまたはスキャナをリムーバブルディスクとして認識します。
- ③ リムーバブルディスクをクリックすると、「DCIM」のフォルダが作成され、すべてのPDFファイルは「200DOC」のサブフォルダに、JPEGファイルは「100PHOTO」のサブフォルダに保存されます。

ファイル名は IMG_0001.pdf または IMG_0001.jpg から始まります。スキャンされた画像には、IMG_ で始まり、画像の保存順を示す4桁の番号が付いた名称が与えられます。例えば、IMG_0001.jpg、IMG_0002.jpg、IMG_0001.pdf、IMG_0002.pdf などです。JPG ファイルは、DCIM\100PHOTO とタイトルの付いたサブフォルダに保存されます。フォルダに9999の写真ファイルが保存されると、101PHOTOとタイトルの付いた別のサブフォルダが順に、199PHOTOまで自動的に作成され作成されます。PDF ファイルは、DCIM\200DOCとタイトルの付いたサブフォルダに保存されます。フォルダに9999の文書ファイルが保存されると、201DOCとタイトルの付いた別のサブフォルダが順に、299DOCまで自動的に作成され作成されます。

省電力 電力を節約するために、指定した時間(90秒、3分、または5分)アイドル状態が続いた後、スキャナは自動的に停止します。時間設定を変更するには以下のステップに従います。

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ▼ を押して省電力にスクロールし、⏻ を押して選択します。
- ③ ▼ を押して希望の設定に焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。

アンチミラー (ハンディのみ)

[アンチミラー]機能がオンになっているとき(デフォルト)、スキャナで上から下または下から上に用紙をスキャンできます。いずれの場合でも、正しい画像をスキャンされます。(スキャナはスキャン方向を自動的に検出し、用紙を下から上へスキャンすると、スキャンされた画像は自動的に反転され上下逆さまに回転されます。)[アンチミラー]がオフになっているとき、用紙を下から上へスキャンすると、スキャンされた画像は逆さまになり鏡像になります(画像の右側と左側が逆転)。

*この機能は、スキャナをハンディーとして使用しているときのみ使用できます。

| 用紙 | スキャン方向 (アンチミラー: オン) | スキャンされた画像 |
|----|-----------------------------|-----------|
| | 上から下 または 下から上 | |

アンチミラーがオフになっているときは、以下のステップに従ってアンチミラーをオンにしてください。

- ① 画面が表示されている状態で、▲ を押してメニューモードに入ります。
- ② ▼ を押してアンチミラーにスクロールし、⏻ を押して選択します。
- ③ ▼ を押して希望の設定に焦点を合わせ、⏻ を押して選択します。
- ④ ⏻ を押して終了します。

カード初期化 マクロ SD カードをフォーマットするには下記の手順で行います。

警告!メモリカードを再フォーマットすると、カードの既存のファイルはすべて削除されます。

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押してカード初期化にスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ **○** を押してはいを選択します。
- ④ 確認するには、**▲** を押します。
- ⑤ フォーマットが正常に行われると、メニュー画面が表示されます。
- ⑥ **□** を押して終了します。

自動切り抜き (自動給紙のみ) フィーダードックを使用しているとき、装置に組み込まれた自動切り抜き機能により、以下に示すように用紙の実際のサイズに従って画像が取り込まれます。

*この機能は、フィーダードックで自動給紙スキャンを使用しているときに利用できます。



用紙/自動切り抜き (デフォルト)

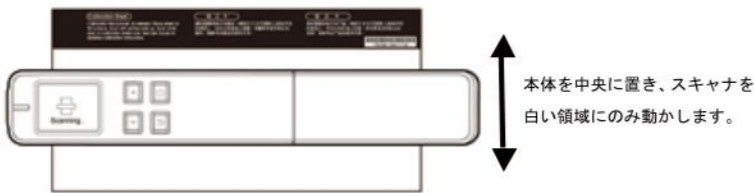


自動切り抜きオフ

用紙の形状とサイズによっては、スキャンされた画像に追加の手動クロップを行い希望の最終画像を得ることができます。自動クロップ機能を無効にするには、以下のステップに従います。

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押して自動切り抜きにスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ **▲▼** を押してオン・オフを選択します、**○** を押して決定します。
- ④ **□** を押して終了します。

- ① バッテリーが完全に充電されており、メモリカードが挿入されていることを確認します。
- ② キャリブレーションシートの印刷面を上にして平らな面に置きます。
- ③ フィーダードックからスキャナーを取り外します。
- ④ 白い領域の上部に、キャリブレーションシートの白い領域にスキャナーを設置します。
* シートがきれいであるのを確認します (ごみや色が付いていないか等)。
- ⑤ 画面が表示されている状態で **▲** を押してメニューモードに入ります。
- ⑥ **▼** を押してキャリブレーションにスクロールし、**○** を押して選択します。
- ⑦ **○** を押してはいを選択します。
- ⑧ スキャナーはキャリブレーションモードに入ります。スキャナーをキャリブレーションシートの白い領域でゆっくり上下にスライドします。
- ⑨ スキャナーはキャリブレーションシーケンスを完了し、自動的に電源をオフにします。
- ⑩ キャリブレーションシートを袋に慎重に戻し、今後も使用するために大事に保管してください。



本体を中央に置き、スキャナを白い領域にのみ動かします。

- 警告:**
- ・ スキャンした画像の色が正常でない場合のみスキャナのキャリブレーションを行なってください。
 - ・ キャリブレーション中、中断したりデバイスをオフにしたりしないでください。完了する前にキャリブレーションを停止すると、キャリブレーションエラーが発生します。電源をオンにして、エラーメッセージが表示された場合は、電源をオフにし、再度行って頂く必要があります。
 - ・ キャリブレーションシートに埃やごみが付かないようにしてください。汚れると、キャリブレーションチャートが無効になったり、キャリブレーション結果に悪影響が出ます。
 - ・ スキャナーをキャリブレーションするには、付属のキャリブレーションシートのみを使用してください。

言語設定 スキャナの LCD 画面は、多言語文字に対応しています。オプションには、英語、ドイツ語、フランス語、オランダ語、イタリア語、スペイン語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語などがあります。

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押して言語設定にスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ **○** を押して希望の言語に焦点を合わせ、**○** を押して選択します。
- ④ **□** を押して終了します。

キャリブレーション (必要な場合のみ)

スキャンされた画像に縦の線またはノイズが出る場合、CIS (密着型センサー) でその色と形状の正確さを回復するためにスキャナをキャリブレーションする必要があります。キャリブレーションの指示については、P21「スキャナのキャリブレーション」を参照してください。*スキャンした画像の色が正常でない場合のみスキャナのキャリブレーションを行なってください。

日時設定

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押して日時設定にスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ **▲▼** を押して年、月、日、AM/PM、時、分、を設定します。(**○** を押すとカーソルが移動)
- ④ **□** を押して終了します。

プレビュー

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押してプレビューにスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ **▲▼** を押してオン・オフを選択します **○** を押して決定します。
- ④ **□** を押して終了します。

スキャナーとフィーダードックの掃除

スキャナーとフィーダードックは約200回スキャンすることに掃除するか、垂直の線や縞がスキャンした画像に表示されたら掃除するようにお勧めします。スキャナとフィーダードックを掃除するには、付属のツールのみを使用してください。

スキャナの掃除

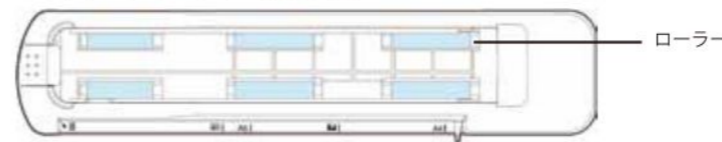
- ① フィーダードックからスキャナーを取り外します。
- ② スキャナーをひっくり返して、ローラーとガラスが見えるようにします。
- ③ 付属のクリーニングクロスでローラーとガラスを拭きます。
- ④ 乾いたきれいな布でスキャナを拭きます。



スキャナ

フィーダードックの掃除

- ① フィーダードックからスキャナーを取り外します。
- ② 付属のクリーニングクロスでローラーを拭きます。
- ③ 乾いたきれいな布でフィーダードックを拭きます。



ローラー

注記:

- ・ ローラーを掃除の際、クリーニングクロスに無水アルコール (95%) を追加すると、より効果的です。
- ・ スキャナーのどの部分でも、溶剤や腐食性液体 (つまり、アルコール、ケロシンなど) を使用して洗浄しないでください。プラスチック素材が回復不能な損傷を受けることになります。
- ・ 文書や写真の表面にペーパークリップなどが付いていないことを確認してください。ペーパークリップはスキャナのガラスレンズを損傷する原因となります。

工場出荷設定 すべてのメニュー設定は、いつでも工場出荷時の設定にリセットすることができます。

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してMenuメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押して工場出荷設定にスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ **▲** を押してはいを選択します。
- ④ 本当に工場出荷時の設定にリセットしますか?と表示されます。リセットする場合、**▲** を押します。
- ⑤ 正常にリセットすると、スキャナーは自動的に停止します。**○** を押してスキャナの電源を再びオンにします。
- ⑥ **□** を押して終了します。

バージョン情報

バージョン情報オプションには、現在ファームウェアとキャリブレーションバージョンがリストアップされています。当社の顧客サポートに連絡する場合、この情報が必要です。バージョン情報を表示するには、以下のステップに従ってください。

- ① 画面が表示されている状態で、**▲** を押してMenuメニューモードに入ります。
- ② **▼** を押してバージョン情報にスクロールし、**○** を押して選択します。
- ③ バージョンや校正の状態、シリアルナンバーが確認できます。
- ④ **□** を押して終了します。

メンテナンス

スキャナのキャリブレーション

キャリブレーションは、スキャンされた画像がぼんやり見える場合、色が異常に見える場合 (例えば、通常より暗い)、8000枚以上スキャンした後、またはスキャナを長期間使用せずに保管していた場合のみ行ってください。キャリブレーションプロセスは、色と鮮明さの精度を回復するために密着型センサーをリセットします。キャリブレーションは、フィーダードックからスキャナを取り外して実行できます。スキャナをフィーダードックに取り付けると、キャリブレーション機能は無効にされます。スキャナをキャリブレーションするには、次のステップを完了します。

トラブルシューティング

エラーメッセージ

スキャン中にエラーが発生すると、LEDライトが赤い色で点滅してエラーメッセージが表示されます。エラー状態をクリアするには、次の表を参照してください。

| エラーメッセージ | 原因 / 目的 | 対応方法 |
|-----------------|---|---|
| メモリカードを挿入してください | 1. メモリカードを挿入してください。 2. カードが識別できません。 | 1. メモリカードを挿入します。 2. 別のカードで試してください。 |
| カードが一杯です | カードが一杯です。スキャンされた画像を挿入したメモリカードに保存できません。 | スペースを空けるか、新しい micro SD カードを挿入してください。 |
| バッテリー残量がありません | バッテリー残量が少なくなっています。 | バッテリーを交換してください (または充電式バッテリーを使用している場合、充電します)。 |
| 画像をスキャンできません | 1. スキャンデータが検出されません。 2. スキャンタイムアウトしています。 | メッセージが消えるまでお待ちください。 |
| フォーマット失敗 | 1. メモリカードが識別できません。 2. ファイルシステムが FAT16/FAT32 ではありません。 | 別のカードを使用してください。 |
| キャリブレーション失敗 | 内部チェックに失敗し、キャリブレーションデータエラーが見つかりました。 | スキャナーを再キャリブレーションしてください (P21 スキャナのキャリブレーション」を参照してください)。 |
| スキャン速度が速すぎます | 画像が歪んでいるように見えます。スキャナを用紙の上で速く動かし過ぎです。 | スキャナを用紙の上でゆっくり動かし、必要に応じて、用紙を再スキャンしてください。 |
| 用紙詰まり | 1. 用紙がフィーダードックで詰まっています。 2. 用紙が最大長 (356mm) を超えています。 | フィーダードックからスキャナを取り出し、それから用紙をフィーダードックからゆっくり引張り出してください。または、 ○ を押して用紙を取り出すことができます。 |
| バッファが一杯です | 内部一時メモリが一杯です。 | スキャンスピードを遅くして、もう一度スキャンし直してください。 |

| | |
|----|---|
| Q: | スキャナーの電源がオンにならないのはどうしてですか？ |
| A: | 1. スキャナーがフィーダードックに正しくはめ込まれていません。 2. バッテリーに十分な残量がないか、正しく挿入されていない可能性があります。 |
| Q: | スキャン中に画像をメモリカードに保存できませんが？ |
| A: | マイクロSDカードが正しく挿入され、適切な空き容量があることを確認してください。 |
| Q: | USBケーブルを通して接続されているとき、コンピュータでスキャンを識別できないのはどうしてですか？ |
| A: | ケーブル接続が正しく、しっかり固定されていることを確認してください。必要に応じて、コンピュータを再起動します。 |
| Q: | スキャンした画像が歪むのはどうしてですか？ |
| A: | スキャン速度が速すぎます。もっとゆっくりスキャンし直してください。 |
| Q: | スキャンした画像の背景に赤あるいはグレーのラインが入るのはなぜですか？ |
| A: | スキャンの実行に対して充電不足しています。バッテリーを充電して再スキャンしてください。 |

| | |
|----|--|
| Q: | スキャナーが300dpiと600/900dpiのどちらでスキャンしているか、どうすればわかりますか？ |
| A: | スキャンインジケータのランプが選択した解像度を示します：緑、常時オン=300dpi、オレンジ、常時オン=600dpi、オレンジ点滅=900dpi(900dpi: ハンディの時のみ) |
| Q: | スキャンした文書に奇妙な線が出るのはどうしてですか |
| A: | 以下を確認してください： 1. 元用の紙に筋や汚れが付いていませんか？ 2. スキャンの前に元用の紙の汚れや埃を取り除いてください。 3. 付属のクローニングクロスでローラーとガラスを洗浄します。P23の「スキャナーとフィーダードックの掃除」を参照してください) |
| Q: | スキャンに触ると温かく感じますが大丈夫ですか？ |
| A: | スキャンを長時間使用していると多少の熱を発生することがありますが、それは正常です。ただし、スキャナから異臭がしたり、スキャナーに触ると少し熱く感じる場合、直ちにスキャナーの電源をオフにしてください。 |
| Q: | 付属CD(OCR付ファイル管理ソフト)に関してはどんな際に利用するのでしょうか？ |
| A: | スキャナー内のデータを整理したり、文字データをテキストデータへ変換したい場合などにご利用頂けます。使い方に関しては付属ソフト内のヘルプよりご確認ください。ソフト名はPAPERPORT SE 14 (Windows版)です。 |

お買上げありがとうございます。

●正常なご使用状態で万一故障した場合、お買上げ日より**1年間**は無料にて修理調整いたします。
(本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。)